

## 宮崎県、宮崎県農業協同組合、ネポン株式会社及び メルヘングループ株式会社との連携協定について

宮崎県農産園芸課

### 1 目的

農業者の高齢化や労働力不足が進む中、社会の変化に的確に対応し、持続可能な農業を実現するためには、デジタル技術の活用が必要不可欠となっている。

これまで宮崎県では、デジタルデータを活用した施設園芸の生産性向上に向けて、Dプロ（施設園芸のデジタル化）の取組を開始し、ハウス内環境データ等を蓄積するデータ共有基盤の構築や生産者が使いやすいスマホアプリ開発など、団体やメーカー各社と取り組んできた。

今後は、関係者相互の強みを生かした継続的な連携と協力により、AIを活用した作物の最適な栽培環境の創出やデータに基づく栽培指導ができる人材育成など、データ駆動型農業の展開を図り、本県農業及び農業関連産業の成長に寄与することを目的とする。

### 2 協定先の概要

#### (1) 宮崎県農業協同組合

##### ① 所在地

宮崎県霧島1丁目1番地1

##### ② 団体概要

- ・ 令和6年4月1日に県内13のJAが合併し「JAみやざき」がスタート
- ・ 営農指導をはじめ販売や購買事業を通じて組合員の経営をサポート

#### (2) ネポン株式会社

##### ① 所在地

東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

##### ② 企業概要

- ・ 日本を代表する農業用暖房機器メーカー
- ・ 2012年より農業ICTクラウドサービス事業を本格始動

##### ③ 県との関係

- ・ 「データ共有基盤」構築の際に、同社が提供するハウス内環境データを蓄積するデータベース（Chabu-dai）を利用

#### (3) メルヘングループ株式会社

##### ① 所在地

東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番5号

##### ② 企業概要

- ・ 第一次産業向けAI/IoTメーカー
- ・ AI/IoTシステム設計およびAI画像解析・行動解析予測解析・ビッグデータ解析を得意としており省庁・自治体・公共団体へシステムを提供

##### ③ 県との関係

- ・ ハウス内環境データ等を生産者や指導員がわかりやすく閲覧するためのアプリを開発

令和6年11月11日現在

### 3 協定書の内容

- (1) データ共有基盤の機能強化に関すること
  - ① 環境測定機やハウス用温風暖房機などとのデバイス連携
  - ② 環境分析ソフトや営農管理ツールなどとのシステム連携
- (2) AIの活用に関すること
  - ① AI分析による作物に最適な栽培環境の創出、高度な出荷予測、病害虫の診断など
- (3) データを活用した人材育成に関すること
  - ① 栽培環境データと植物生理を結びつけた栽培・経営指導ができる人材の育成
- (4) その他、連携四者が認めた取組に関すること

### 4 締結式について

- (1) 日時  
令和6年12月10日（火）午後4時15分から午後4時30分(15分程度)
- (2) 場所  
県庁 副知事会議室
- (3) 出席者  
宮崎県：知事 河野 俊嗣、農政水産部長 殿所 大明  
宮崎県農業協同組合：代表理事組合長 栗原 俊朗  
ネポン株式会社：代表取締役社長 福田 晴久  
メルヘングループ株式会社：代表取締役社長 住澤 大介

### 5 その他（「みやざきデータ駆動型農業（施設園芸）推進大会」の開催）

- (1) 日時  
令和7年1月27日（月）午後1時30分から午後4時30分
- (2) 場所  
JA・AZMホール（宮崎市霧島1丁目1番地1県庁）
- (3) 主な内容
  - ① 宮崎県における施設園芸のデジタル化に向けた取組について
  - ② Dプロ地域ワーキンググループの取組について
  - ③ 基調講演  
「環境制御技術で反収の壁を突破」（仮）  
佐賀県武雄市 きゅうり生産者 山口 仁司
  - ④ トークセッション  
テーマ：データ駆動型農業の未来  
【コーディネーター】  
・デジタルハリウッド大学 教授 太場 次一  
【パネリスト】  
・佐賀県武雄市 きゅうり生産者 山口 仁司  
・きゅうり生産者 ラプター会 山之内 慎吾  
・ピーマン生産者 ハッピーマン 安達 太一